



たかいだ保育園

新築工事

東大阪市のJR河内永和、近鉄永和駅近くに建つ歴史ある保育園の移転新築工事です。閑静な住宅地に立地するため、遮音壁や防音サッシの設置を行い、近隣の皆さまへの配慮を施しました。へ豊かに「生きる力」を育てるVという園の目標のもと、施主・施工者と協働し、子ども達の成長を促しながら楽しく一日を過ごすことのできる豊かな環境の実現をめざしました。（富永・伊達）

大阪府東大阪市 22年2月竣工
 施主 社会福祉法人公共社会福祉事業協会
 施工 株式会社前田組
 鉄骨造地上3階建

PROJECT 工事中です

チャームスイート
苦楽園

新築工事

兵庫県西宮市 23年7月竣工予定
 施主 株式会社チャーム・ケア
 コーポレーション
 施工 日本建設株式会社
 鉄筋コンクリート造
 地下1階 地上5階建

個室64室、夫婦部屋8室の合計80名の有料老人ホームを建設しています。敷地は東に向かって開けており、夙川を望むことができ、地形に合わせて、東半分は地下1階地上4階建て、西半分は地上5階建ての雁行した建築計画となっています。近所には「甕（こしき）岩」で有名な越木岩神社があります。（若林・金重）



ロームシアター京都



改築・改修前の京都會館

京都會館ことロームシアター京都で、小澤征爾音楽塾公演『こうもり』を観てきました。

『美しき青きドナウ』で有名なヨハン・シュトラウスⅡ世が作曲したこのオペレッタは、ウィーンをはじめとするドイツ語圏の歌劇場では大晦日恒例の出し物で、浮世のうさを笑い飛ばして新年を迎えようというウィーンっ子の洒落っ気たっぷりの喜劇です。アイゼンシュタイン（鉄石）という姓の主人公夫婦の、お互いの浮気騒動と大団円という他愛ないストーリーですが、全編ギャグあり、アドリブありで、観客大笑い間違いなしの舞台です。

1960年竣工の建築家・前川國男の傑作を2015年に香山壽夫が改築・改修したこの建物は、文化財的価値のある建物の改築保存活用のあり方としても論議を呼びました。東山の山並みに配慮して高さを抑えた山形の屋根形状の大ホールを、地区の高さ規制を緩和してまで31mの箱にする必要が本当にあったのか、もっと議論検討されて然るべき課題でした。

宮本和則 Kazunori Miyamoto

Editors

富永 斉美 Hitomi Tominaga
 浜口 直子 Naoko Hamaguchi
 中村 円香 Madoka Nakamura

お問い合わせ・ご相談は

株式会社 京都建築事務所

〒604-8083
 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町10番地
 TEL:075-211-7277 FAX:075-211-7270
 ホームページURL <http://www.kyoto-archi.co.jp/>
 メールアドレス info@kyoto-archi.co.jp



とれみ



昭和58年に竣工した中学高等学校の、生徒数増加に伴う教室不足を解消するための校舎の増築です。外観は可能な限り既存の校舎に合わせてタイル貼とし、一体感が生まれるよう配慮しました。

隣のグラウンドから野球部の球が飛んでくるため、防球ネットも設置しています。（若林・伊達）



京都大学近くの敷地に計画した、単身者向けワンルーム賃貸マンション（22戸）です。外観は京都らしさを備えつつ、モダンであり周辺の景観に溶け込む建物となるようデザインしました。内部は質感の高い仕上材を選定し、高級感があり快適で過ごしやすい居住スペースを目指しました。（若林・馬場）

京都国際中学高等学校 校舎増築工事

京都府京都市 22年2月竣工
施主 学校法人京都国際学園
施工 たち建設株式会社
鉄筋コンクリート造地上2階建

CASA京大前 新築工事

京都府京都市 22年2月竣工
施主 三國商事株式会社
施工 株式会社岡野組
鉄筋コンクリート造地上5階建

【特集】 大阪福祉事業財団 城東老人ホーム・すみれ病院・すみれ保育園

城東老人ホーム・すみれ病院

大阪府大阪市
城東老人ホーム 20年3月竣工
すみれ病院 21年9月竣工
施工 松井建設株式会社
鉄骨造5階建

すみれ保育園

大阪府大阪市 20年3月竣工
施工 松井建設株式会社
鉄骨造4階建



広場



外観北西面全景



左:すみれ病院 右:城東老人ホーム



南面外観



上が建替え前、左が建替え後の写真です。建替え前は、園庭や緑地が敷地中心にあり、園児や老人ホームの入居者の憩いの場でした。建替え後は、園庭や広場が道路に面し、地域に開かれた建物配置となりました。

VOICE

すみれ保育園
園長
野満真由美様



2020年3月に木のぬくもりと遊び心たっぷりの新園舎が完成しました。階段下を利用したDENやロフトのような「かてステージ」、大きな出窓のベンチからは外の様子がよく見え、陽の光がたくさん入るととても明るい保育室になっています。ホールの下は人工芝のピロティになっていて、雨の日も外遊びが楽しめます。ワクワクする工夫がたくさんで、子どもたちのお気に入りの場所ができ、毎日元気な声が響いています。保育者の動線や収納も一緒に考えていただき、働きやすく動きやすい素敵な園舎になりました。

VOICE

城東特別養護老人ホーム
施設長
中島 素美様



従来型多床室であった旧施設から新施設に引っ越して2年がたちました。旧施設では、特養は1室6名定員が標準居室であり、狭いところに多くの人が暮らし働いていて、テレビやナースコールなどの雑多な音が常にあふれかえっていました。今は新施設のこちよい静かさに癒されています。コロナ禍により地域交流スペースの活用は思うようにすすんでいませんが、このほど完成した芝生広場も活用し、人と人がつながれる取り組みを広げていきたいと考えています。

VOICE

すみれ病院
事務長
上原 城立様



新病院は、「入った時より出る時、ちょっとり豊かになる」そんな病院にしたいと考え、日本の里山をコンセプトにして「木漏れ日の木陰」で休憩をとる様なイメージでコーディネートしました。1階の待合は、天井が高く開放的で、グリーンと木目の自然な色調で統一し、四季折々の日本絵画を多く配置して広々とした落ち着いた空間となっています。2階の病棟には、広いウッドテラスを設け、入院患者様が気分転換に日向ぼっこをしたり、リハビリで歩く練習の出来る空間は、患者様のみならず、安心安全な医療を提供する職員にも喜ばれています。

建築工事にあたっては、上記以外にも当方の強いこだわりから細かな設計や仕様変更に対応してくださった京都建築の担当者様及び関係者の方々に大変感謝しております。お陰様でコンセプトに添ったイメージ通りの新病院が完成しました事に御礼申し上げます。